

特集

真に現場の改善につなげる 「業務量調査」

複雑性の高い「看護業務」の捉え方と調査実施のポイント

医療の高度複雑化、平均在院日数の短縮、少子超高齢社会などのさまざまな要因により、臨床現場の多忙さに拍車が掛かっています。そのため、業務改善や職場の活性化、経営管理部門との交渉材料となるデータを得るために業務量調査を行う施設は少なくありません。しかし、看護業務の業務量調査は大変奥が深く、臨床現場の限られたマンパワーで網羅的にデータを収集することは容易ではないのも事実です。そこで、自施設で発生している問題に絞った調査目的を設定し、最も効果的かつ効率的に業務量調査を行う方法を考察します。

真に現場のためになる業務量調査を行うには●笠原聡子

業務量調査の準備と進め方●笠原聡子

【東京慈恵会医科大学葛飾医療センターの取り組み】

直接業務と間接業務を可視化し、就労環境改善につなげる●岩尾亜希子

【JA 北海道厚生連旭川厚生病院の取り組み】

看護補助者との協働・連携による効果を可視化する●龍本裕子ほか

【杏林大学医学部付属病院の取り組み】

外来看護師配置体制の変更前後における、看護師の業務の変化●高崎由佳里

巻頭

うちの師長会・主任会⑤ 国立成育医療研究センター病院

特別記事

【翻訳】看護師のように考える 看護臨床判断の研究に基づいたモデル

●クリスティーン・A・タナー

医療機関におけるソーシャルメディア活用のリスクマネジメント
システム整備のポイントと今後の展望

●斉藤奈緒美／石川雅彦／金子友美／越永守道

調査報告

看護職の就業継続に関する意識調査と中堅看護職の傾向

愛知県による取り組み●小野由季子

編集後記

▶2014年1月号では、これからの看護管理を担うべき対話型リーダーのあり方について、「ファシリテーター型リーダーシップ」との仮説のもと特集を企画し、大変ご好評をいただきました（完売しました）。その後、今年3月には弊社後援でファシリテーションをテーマとする看護師さん向けセミナーを開催しました。ほぼSNSのみでの告知となりましたが、多くの病院の看護管理者やさまざまな場でスタッフ育成に携わる看護師にご参加を賜りました。これらを通じて、より具体的なファシリテーションのスキル解説へのニーズを感じ、前特集およびセミナーの著者・講師陣のご協力のもと、本特集の企画化へと至りました。▶とは言え、対話の場とは二度と同じ場はないライブ、生ものであり、そのファシリテーションは書物を読んですぐに実践できるものではないと思います。本号を読んで基礎的スキルを学んでいただいた後には、体験型・実践型の学習の場へのご参加をお勧めします！（小齋）

▶先日、どうしても冷やし中華が食べたくなり、チェーンの中華料理のお店に入りました。注文を終え、テーブルによくある三角柱の広告を見てみると、読売 KODOMO 新聞のキャンペーン広告があり懐かしくなりました。▶週1回発行される子ども向けのニュース解説なのですが、かつてNHKテレビの番組「週刊こどもニュース」を担当していた池上彰氏が言うように、子ども向けだからこそ、かみ砕いた説明が大変分かりやすく勉強になります。大学時代、就職活動中に一般教養の勉強のために欠かさず読んでいたことを思い出します。▶世の中で当たり前のように使われている言葉や概念も、きちんと説明をしようとするとな案外難しいものです。情報社会のいまだからこそ「いまさら聞けない」とについて基本に立ち返って学び直す機会を大切にしたいと思います。（宇津井）

看護管理 第26巻第10号

2016年10月10日発行（毎月1回10日発行）

発行 株式会社医学書院

代表者：金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2016, Printed in Japan

定価 本体 1500 円＋税

2016 年年間購読料

冊子版 本体 16920 円＋税

冊子＋電子版/個人 本体 19920 円＋税

電子版/個人 本体 16920 円＋税

（いずれも送料弊社負担）

『看護管理』編集室（担当：小齋、宇津井、伊藤）

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

〔年間購読のお申し込み先〕

医学書院販売部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】（出版者著作権管理機構委託出版物）複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構の許諾を得てください（TEL03-3513-6969 FAX03-3513-6979 info@jcopy.or.jp）。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された [0917-1355/16/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPY] は、1論文1回複製の料金を明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPY へのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

*「看護管理」は、株式会社医学書院の登録商標です。

facebook やってます！

アカウントをお持ちの方は「看護管理」で検索していただき、「いいね！」をお願いいたします。
http://www.facebook.com/kangokanri1991
●twitter アカウントは、@kangokanri です。
合わせてフォローをお願いいたします。